

令和4年度

公私立幼稚園・こども園・保育所（園）
研究主任・教諭・保育士・小学校教諭研修会

幼児期の発達と学びの連続性を考慮した小学校教育
への円滑な接続を図る



与那原町立与那原幼稚園

テーマ設定理由

保育所（園）・幼稚園・認定こども園・小学校

互いの情報共有・連携が必要

文部科学省

「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について（報告）」では、学びの基礎力の育成を図るために、幼児期（特に幼児期の終わり）から児童期低学年にかけての教育においては「三つの自立」（学びの自立・生活上の自立・精神的な自立）を養うことが必要である。

2010年の文部科学省

幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について（報告）

テーマ設定理由

幼児教育：遊びが学習

- ・環境を通した教育
- ・幼児の発達、興味や関心に応じた保育
- ・1日の保育の中で、主体的に生活や遊びが進めている

小学校教育：教科書等

- ・教科書を使って学ぶ
- ・決められた時間の中で生活や学習が進められている

学びの段差
生活の段差

環境の変化
への戸惑い不安



思いをうまく言葉で
伝えられず、友達と
馴染めない

ようちえんとは
ちがう…

・新しい先生や友達はどんな人かな？
・新しい友達には、うまく話ができる
できないな…

テーマ設定理由

幼稚園教育要領

小学校教育との接続

小学校の教師意見交換や合同研修で
共有、連携を図る

幼稚園・認定こども園・保育園・小
学校との**合同研修会、教師と保育士、**
園児や児童の交流

幼児教育の成果が、
小学校につながるようにする

テーマ設定理由

保・幼・こ・小連携これまでの取り組み

幼稚園から発信

〈園児同士の交流〉

- 保・幼・ことの交流会の実施

〈職員同士の交流・連携〉

- 保・幼・ことの交流会の実施
- 小学校職員対象に公開保育の実施
- 1年担任へ幼稚園のクラスだよりを共有

テーマ設定理由

幼・小連携

小学校から発信

〈幼児・児童〉

- 飼育委員やボランティア委員との交流
- お招き会や給食体験の実施

〈職員同士の交流・連携〉

- 保・幼・こ小連携担当によるスタートカリキュラムだよりを発行。
→幼児教育と小学校教育の相互理解を図る

テーマ設定理由

前年度の課題

小学校の教師との情報共有と相互理解

5歳児後半の教育課程とスタートカリキュラムの接続が十分ではない

テーマ設定理由

研究テーマ

幼児期の発達と学びの連続性を考慮した小学校教育への円滑な接続を図る

～保・幼・こ・小の学びの連続性を通して～

テーマ設定理由

研究の視点

幼児教育と小学校教育への
効果的な接続を探る

研究の内容

- ①教育課程の見直し
- ②指導案様式の検討



研究内容

①教育課程の見直し

行筆

テーマ設定理由

改善策

3年保育(3・4・5歳児)のカリキュラム

- 3・4・5歳児の教育課程のつながり
- 学年間の切れ目がないか確認

見直しと改善

保育の質を高める

研究内容

②指導案様式の検討

改善前：B4縦

改善

改善後：A3横

研究内容

②指導案様式の検討

・指導シナリオ(実践)や年令を複数で想定して指導計画や指導手順が作成される。 ・授業時間は、何時間かで表すのが一般的。また、授業時間は、何時間かで表すのが一般的。 ・時間の割合で、何時間かで表すのが一般的。 ・時間の割合で、何時間かで表すのが一般的。 ・時間の割合で、何時間かで表すのが一般的。 ・時間の割合で、何時間かで表すのが一般的。	《ねらい》 ・指導の目標は、一回の授業でどの程度達成するかを示す指標です。 ・達成度合いによって、達成度合を評価します。 ・達成度合によって、達成度合を評価します。 ・達成度合によって、達成度合を評価します。 ・達成度合によって、達成度合を評価します。	《内容》 ・学習内容を示すもので、授業の目的や目標を達成するための教科書や参考書等を示す。 ・授業の内容を示すもので、授業の目的や目標を達成するための教科書や参考書等を示す。 ・授業の内容を示すもので、授業の目的や目標を達成するための教科書や参考書等を示す。
3 終業 4 卒業	3 終業 4 卒業	3 終業 4 卒業



《ねらい》 ・指導の目標は、一回の授業でどの程度達成するかを示す指標です。 ・達成度合いによって、達成度合を評価します。 ・達成度合によって、達成度合を評価します。 ・達成度合によって、達成度合を評価します。	内 容 ・授業の内容を示すもので、授業の目的や目標を達成するための教科書や参考書等を示す。	内 容 ・授業の内容を示すもので、授業の目的や目標を達成するための教科書や参考書等を示す。
--	---	---

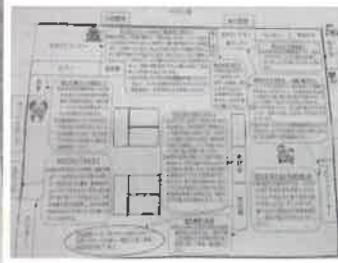
研究内容

②指導案様式の検討

クラスの
1日の流れ



室内環境図



戸外環境図



研究内容

指導案(日案・環境構成)

全体

《ねらい》 ・指導の目標は、一回の授業でどの程度達成するかを示す指標です。 ・達成度合いによって、達成度合を評価します。 ・達成度合によって、達成度合を評価します。 ・達成度合によって、達成度合を評価します。	内 容 ・授業の内容を示すもので、授業の目的や目標を達成するための教科書や参考書等を示す。	内 容 ・授業の内容を示すもので、授業の目的や目標を達成するための教科書や参考書等を示す。
3 終業 4 卒業	3 終業 4 卒業	3 終業 4 卒業

研究の実際

実践事例(1)委員会活動を通した幼児・児童の交流



○小学生に憧れの気持ちをもってほしい
○自分が経験したように友達や年下の子に優しく関わるよう
なってほしい

カメのお家、
重くない?



幼稚園生には、
重いかもね。



優しく、そつと
洗ってあげてね。



カメの甲羅の洗い方を
教えてもらったよ。

研究の実際

実践事例(1)委員会活動を通した幼児・児童の交流

3歳児クラス

ここに
置いてね

お兄ちゃん
ありがとう♥

ここにシールを
貼るんだよ



自分でやってみたい！

感謝の気持ちを言葉に出す

研究の実際

実践事例(1)委員会活動を通した幼児・児童の交流

毎日メンバーが入れ替わるので、
お兄さん、お姉さんの顔と名前が
一致していないようだ。



委員会活動時間内に登園して
いない子は関わりがもてていない

委員会活動担当の
先生と話し合い

児童同士の
話し合い

週1回、給食後の楽しい時間
(長い休み) も活動する

委員会メンバーの顔写真と名前を
掲示する

研究の実際

実践事例(1)委員会活動を通した幼児・児童の交流

幼稚園生がバランスを
崩さないように後ろから
支えている

サッカーのルールを
教えてくれる



お兄ちゃん、ハサミ
使うのが上手！



お兄ちゃん達と幼稚園を
綺麗にしたよ

研究の実際

実践事例(1)委員会活動を通した幼児・児童の交流



お名前は何で
ですか？



好きな食べ物は
何ですか？

このお兄ちゃん、
○○○って
言うんだね

研究の実際

実践事例(1)委員会活動を通した幼児・児童の交流

お兄ちゃん達のように
きれいに拭くぞ！



一緒に掃除を
してくれる！

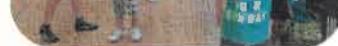


じゃんけんぽん！



むしむしじゃんけん♪

レッツダンス！



研究の実際

実践事例(1)その他の交流

～小学校のお昼休みの長い時間を利用して～

幼稚園生のダンスも
見て見て～♪



お姉ちゃんたちから、ダンスを
教えてもらったよ♪



研究の実際

実践事例(1)その他の交流

～小学校のお昼休みの長い時間を利用して～

僕もおんぶ
して～♥



うでの力で
登るんだよ！



お兄ちゃん達の
いる所まで登ろう！



1年生と走り勝負！
負けないぞ！

研究の実際

実践事例(1)その他の交流

～小学校のお昼休みの長い時間を利用して～

小学生と綱曳対決だ！



あっ！〇〇先生だ！！



引っ張れ～！

研究の実際

実践事例（1）幼児・児童の交流を通して幼稚園児の変化

年下の子にも優しく接するようになり、一緒に遊んでいる

倒れないように、支えるね



お姉ちゃん、ありがとう！

年中さん・年少さんはリレーのルールがまだ分かららないから一緒に走ろう！



研究の実際

実践事例（2）保・幼・こ・小連携

〈4月〉

保・幼・こ・小連携の計画

小学校の保・幼・こ・小連携担当と幼稚園職員で本年度の取り組みについての話し合い

保・幼・こ連携の計画

保育所（園）・私立幼稚園・こども園と幼稚園職員で交流等のねらいや年間計画について話し合い（コロナの影響で実施ができなかった。）

研究の実際

実践事例（1）考察

○幼稚園職員と委員会担当の先生で、委員会活動の様子や園児の実態を共有したことで、児童が活動時間や内容を見直し、幼児・児童の関わりが広がった。

○幼児・児童の関わりが広がったことで互いに親しみをもって関わる姿が増えた。

○小学校のお兄さん、お姉さん達に優しく寄り添ってもらったことで、思いやりの気持ちをもって、年下の子と関われるようになった

研究の実際

実践事例（2）保・幼・こ・小連携

〈5月・6月・9月・10月〉

連携会議の開催

支援を要する子について小学校の担任や特別教育 支援員、町の特別支援コーディネータと合同で連携会議を開き、支援の方法などを情報交換



研究の実際

実践事例（2）第1回公開保育＆保育研究会

<7月14日>与那原幼稚園・小学校のみで実施

ねらい

- ・小学校の教師が保育参観をし、「幼児期の終わりまでに育つてほしい姿」を手掛かりとして、幼児の生活や遊びの様子から学びを共有をする。
- ・保育参観後に振り返りを行い、講話や協議を通して、幼児教育と小学校教育との円滑な接続の在り方について相互理解を図る。

研究の実際

実践事例（2）保・幼・こ・小連携 教師間の連携

公開保育（午前の部）

園庭の花や草を使って、色水遊び！
色の変化を楽しむ

お団子、いっぱいできたね！

水とお花できれいな色が出たよ！



研究の実際

実践事例（2）保・幼・こ・小連携 教師間の連携

公開保育（午前の部）

先生、作った物を見て！



なにを作っているの？



頑張りまめできるくらい、
頑張ったよ♪

研究の実際

実践事例（2）保・幼・こ・小連携 教師間の連携

小学校の先生が
児童と幼児の関わりを見て・・・

「この子達、こんないい顔するんだ。
みたことのない表情している～。」
「小さい子にも優しく関わることが
出来るんだね」と感激！！



研究の実際

実践事例（2）保・幼・こ・小連携 教師間の連携

保育研究会（午後の部）

幼小の職員による話し合い



円になって幼稚園と小学校との意見交換♪



沖縄女子短期大学、名渡山よし乃氏による講話『子どもの学びをつなぐ保・幼・小・こ連携』と指導助言

保育の振り返りの中から、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を手掛かりとして小学校の諭と共有



研究の実際

実践事例（2）保・幼・こ・小連携 教師間の連携

11月

第2回公開保育＆保育研究会

対象者：町内保育所（園）、公私立幼稚園、認定こども園、与那原小学校、与那原町子育て支援課、教育委員会

～ねらい～

・保育参観や保育研究会を通して、具体的な事例を基に、幼児教育から小学校教育への円滑な接続の在り方について相互理解を図る。

研究の実際

実践事例（2）保・幼・こ・小連携 教師間の連携

第1回公開保育＆保育研究会 与那原小学校教諭の感想

- ・子供の生き生きとした活動の裏には、（幼稚園の）先生方の見守りと声掛け、やりとりがあってのことだと感じた。
- ・小学校で活かせる取り組みや幼稚園で身に付けている（経験している）ことが多くあると感じました。これらを知っていると一年生でやるべきことが大きく変わったと思いました。

研究の実際

実践事例（2）保・幼・こ・小連携 教師間の連携

公開保育（午前の部）

いらっしゃいませ～
アイスどうぞ♡



お客様とのやりとりを楽しむ

ここは、こうしてみよう！



友達と一緒に、遊びのイメージを共有する

研究の実際

保・幼・こ・小連携 ~教師間の関わり~

保育研究会（午後の部）

〈KJ法〉付箋に記録しながら貼り付けていく



各グループの協議♪



第1ラウンドお題

- ・『保育の中で感じたこと、良かった所。』
- ・『保育の中での気付き、私ならこうするかな。』など

第2ラウンドのお題

- ・遊びが『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』どこにつながっているか

研究の実際

実践事例（2）保・幼・こ・小連携 教師間の連携

国内研究テーマ

分発達と学びの連続性を考慮
小学校教育への円滑な接続を図る
保育ここの学びの連携を通して~

話し合いの発表!



研究の実際

実践事例（2）保・幼・こ・小連携 教師間の連携

保育研究会（午後の部）

小学校教育への円滑な接続を図る
保育ここの学びの連続性を通して~



研究の実際

実践事例（2）保・幼・こ・小連携 教師間の連携

第2回公開保育&保育研究会へ参加した先生方の感想

- ・子供たちの「やりたい！」が実現される充実した環境構成、子供たちの思いを受け止め、形にしていこうとする教師の関わり、そして息がぴったりの職員のチームワークがとても素晴らしいかったです。(校区外幼稚園職員)
- ・「幼稚園のこの環境いいな～。」と思ったところを小学校にも取り入れていきたい。できるところからもっとスタートカリキュラムにつなげていきたい。(小学校職員)
- ・保幼こ小連携について幼稚園の環境構成や教師の援助、子供たちの遊びの様子や学びの繋がりについて小学校の先生と話し合い、様々な意見が出て、気付きもたくさんありました。(保育士)

研究の実際

実践事例（2）

保・幼・小連携 教師間の連携



「ようちえんだより」
幼児の発達や学びを小学校へ伝える。幼稚園から児童期へ繋がる実践を掲載
(幼稚園→小学校)



「スタートカリキュラムだより」
小学校スタートカリキュラムの取り組み(小学校→幼稚園)

研究の実際

実践事例(2) 考察

公開保育を通して、幼児教育の内容や幼児がどのようなことに興味や関心をもって遊び、学んでいるかを共有することができた。

保育協議の中で、幼稚園での遊びが小学校の学びにつながることを相互理解する機会となつた。

当日の指導案の中で、環境を通して行う教育、意図的・計画的な環境構成について共有することができた。

成果と課題

成果(幼児・児童)

- 幼小の教師が話し合い、連携をするにとによって、幼児・児童の関わりが広がり、互いに親しみをもって関わる姿が多く見られるようになった
- 小学生に優しく接してもらったように、年下の園児に接する姿が見られるようになった
- 関わりが増すごとに、お兄さん、お姉さんへの憧れや小学校への期待が高まった

成果と課題

成果(教師)

- 発達の連続性を踏まえて、3年保育の、教育課程の見直し、改善ができた
- 「ようちえんだより」や「スタートカリキュラムだより」を発信し合い、情報共有したことで、幼小の教師が幼児・児童の姿や育ちを共有し、相互理解につながった
- 町内の保・幼・小を対象に公開保育、保育研究会を実施したことで「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の捉え方について共有することができた

課題

- コロナ禍でもできる交流や連携方法の検討
- 小学校と一緒に、5歳児後半の教育課程とスタートカリキュラムを円滑に接続するための接続期のカリキュラムの作成
- 日常的な交流を重ね、いつでも保育・授業参観ができるような体制づくり

ご清聴ありがとうございました！

